

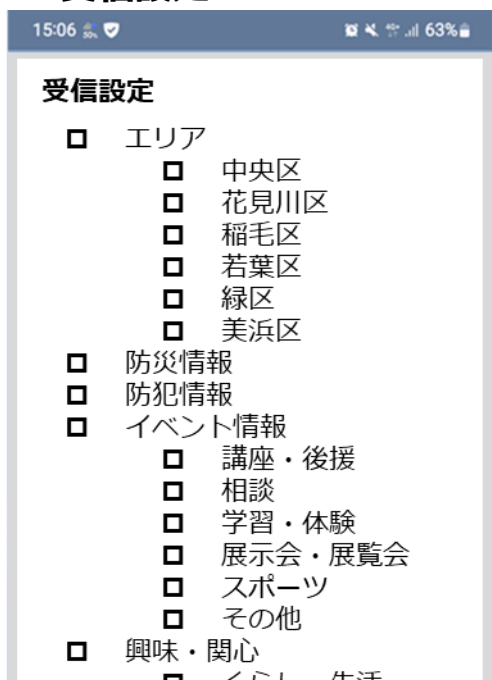
# 別紙1 画面イメージ

## ■リッチメニュー



- タブを最大3つまで設定できること。
- 各タブを含め、合計で最大20件のタップ領域が設定できるリッチメニューを構築すること。
- タブやボタン（アイコン）のテキストの設定が容易であること。
- メニューに用いる画像の登録や変更が容易であること。
- メニューに用いるボタン（アイコン）のサイズはLINE及びシステムの仕様の範囲内で自由に設定できること。（例：2×4マスの範囲内で自由に設定できるなど）
- 特定のボタンは「受信設定」とし、セグメント配信のための受信設定に遷移すること。

## ■受信設定



- LINE利用者は自己の属性・配信条件等を選択し、登録できること。
- 直感的に設定することができ、煩雑な操作を必要としないこと。
- LINE利用者が配信条件を変更する際、煩雑な操作を必要としないこと。
- アクセシビリティに配慮し、ボタンやテキストの色やサイズを設定すること。
- 管理者はセグメント配信の項目追加や削除が容易にできること。